

女性とジェンダーの歴史

第2号

2014. 11

論文

19世紀末から20世紀初頭イギリスの女子中等学校における家政学の導入

—セーラ・A・バーストールの著作を再読する—

中込さやか (3)

研究ノート

第一次世界大戦イギリス詩にみる多様な女性詩人たち

小林 英里 (15)

リレー討論 いま、女性史に問われているもの

第1回 私は「女性」について語りすぎたのだろうか

奥田 伸子 (29)

第2回 女性史、社会史、全体史

坂下 史 (32)

第3回 私はまだまだ「女性」について語り足りない

河村 貞枝 (35)

第4回 「日本史」と「女性史」の壁を超えて

林 葉子 (38)

第5回 「ジェンダー史」という到達点？

石井 香江 (41)

第6回 「性欲」の歴史学を構想する

藤野 裕子 (44)

書評・紹介

伊藤セツ著

『クラーラ・ツェトキーン—ジェンダー平等と反戦の生涯』

矢野 久 (47)

倉田 稔 (49)

清水敦・櫻井毅編著

『ヴィクトリア時代におけるフェミニズムの勃興と経済学』

前原 直子 (51)

三成美保・姫岡とし子・小浜正子編

『歴史を読み替える ジェンダーから見た世界史』

三井 淳子 (54)

河村貞枝・今井けい編 『イギリス近現代女性史研究入門』

松塚 俊三 (56)

姫岡とし子・川越修編 『ドイツ近現代ジェンダー史入門』

伊藤 セツ (57)

有賀夏紀・小檜山ルイ編 『アメリカ・ジェンダー史研究入門』

井野瀬久美恵 (59)

香川せつ子・河村貞枝編 『女性と高等教育—機会拡張と社会的相克』 香川せつ子 (61)

堀内真由美著 『大英帝国の女教師—イギリス女子教育と植民地』

堀内真由美 (62)

Connolly, T. and Clark, S. (eds.), *Liberating Medicine 1720-1835*

小川 公代 (63)

研究会の記録

(65)